

## 甲州市ワイン振興計画(平成 29 年～平成 38 年)の概略版)

### 1. 計画策定の主旨

この 10 年の間で山梨のワインはどう変わったでしょうか。特に甲州種ブドウを取り巻く軌跡を辿ってみると、甲州種ブドウは常に私たちの傍らにあり、いつでも必要量が賄え、「あることが当たり前」であり、これまでこのブドウをしっかりと見つめてこなかったと受け取ることができます。1990 年代までは多様なタイプのワインが醸造され、生産量は比較的安定した状況にありましたが、2000 年以降、県内における甲州種ブドウの醸造仕向け量はピーク時の年間約 13,000 t 弱から 3,000 t 前後（内市産約 1,400 t）にまで減少しており、生産構造の弱体化が見え始めています。

この様な時だからこそ、甲州種ブドウの価値を再認識する機運を市全体で醸成し、地域産業の象徴的存在としてのワイン産業を創造していくための新たな計画づくりが必要です。本市にはブドウ以外にも桃、スモモといった果樹園が数多く集積しており、その経営体のひとつとしてワイン用ブドウは栽培されています。本市の財産となっている果樹園の景観、人々の営為、歴史的な価値を大切に、伝統産地としての将来像を描く意味から平成 29 年 3 月に甲州市ワイン振興計画を策定しました。

### **ワインの生産・流通現場の問題**

- 栽培農家の高齢化が進み、甲州市産ブドウの確保が難しくなる（担い手の不足）
- 収益性の高い生食用ブドウ（シャンマスカット等）への転作が進んでいる
- 酒税法の改正や輸入ワインの増加、国内他産地ワインとの競合が激しくなり、販売ルートの確立が難しくなる
- 農地の第三者への継承、農地集約、法人経営への集積が進みにくい
- 日本ワインブームを背景にブドウ苗木が手に入りにくい状況にある
- ブドウ生産等に関する調査が不十分で実態を正確に掴みきれていない

### **取り組みの方向性**

#### **1. ワイン原料用ブドウの振興策(甲州種ブドウの生産安定、今後維持していく生産量の指標化)**

- ①市内ブドウ生産農家、ワイナリーに対し、栽培状況や必要生産量等、今後の計画を含めて総合的に調査を行い、実態の把握に努めていきます。
- ②調査結果を踏まえ、市場動向を睨みながら、現実的な目標量を指標化します。
- ③大きい視点と小さい視点から、地域ぐるみで就農希望者を育成し、地域農業を持続可能にするための取り組みを進めていきます。

「**大きい視点**」市が新たに創設する独自の新規就農支援施策を J A サポートセンターと一緒に進めていきます。

「**小さい視点**」既存・兼業農家、退職後に新規で栽培を始める方などへの生産支援策を充実します。

- ④甲州市ぶどう・ワイン産地確立会議を通じ、需要供給のバランスを図りながら、農家、ワイナリー双方の安定化を視野に入れた生産者の顔と畑がみえる永続的な取引体制の充実を図ります。
- ⑤市ワイン原料用甲州種ブドウ苗木供給対策事業を活用し、市内ワイナリーを通して生産農家へ優良一年生苗木を供給します。

## 2. ワイン生産の振興策(甲州市原産地呼称ワイン認証制度の充実とぶどうの丘でのワイン訴求、選びやすい売り場の演出)

### 「甲州市原産地呼称ワイン認証制度」

①認証制度の特徴は原料ブドウについてのトレーサビリティを徹底することに力点を置いています。県産ワインの国際的評価の向上のため、原料ブドウの出自の認証に軸足を置きながらも、認証制度が更に発展していくために今後どのような規制・規則が必要なのか検討を進めていきます。

②甲州市における情報発信の拠点「ぶどうの丘」において、認証制度が果たす意義や役割を消費者にわかりやすく伝え、専門ガイドの解説を通して実際に味わい、その比較を楽しめる環境づくりを進め、新たなファン獲得に努めます。

### 「ぶどうの丘でのワイン訴求と選びやすい売り場づくり」

①季節感に合わせ訴求すべき商品が並ぶ売り場づくりと、ワインの特徴がわかりやすい文言を盛り込んだ独自のPOPを作成します。

②ワイン売り場のスペシャリストを育成します。(個人の能力と組織力の強化)

## 3. ワイン普及促進の振興策(ワインと人の接点づくり(ワイン文化の醸成は地場飲用から始まる))

①ワインが特産品と言われながら、地元ではあまり飲まれていないといった現状を直視し、地元のワインを地元飲食店が理解して応援する取り組みを進めます。

②市民グループ等のワインへの関心度を高めるため、定期的に学習会を開催します。

### 「ワインツーリズムへの市民参画と協働」

①ワインツーリズムという活動を市民参画の場として位置付け、地域資源を活かした地域内の市民相互の連携を促進します。

②市内での宿泊に結びつけるための新たな取組みとして、地元人との交流会等の開催を検討します。

### 「峡東ワインリゾート構想によるワイン観光の推進」

①市の魅力や地域文化を来訪者に紹介できる人づくり・人材育成を市観光協会と連携しながら推進します。

②こうしゅうグルメ冊子を製作し、食とワインが楽しめる店舗紹介を内外に向けて発信します。

### 「市民向け・食とワインを楽しみながら学べる場を提供」

①市食生活改善推進委員会、勝沼ぶどう郷民宿組合等と連携協力して県産ワインに合う料理レシピを考案し、甲州市ならではの楽しみを発信します。

②市内小中学生を対象としたワイン文化課外教室を開催します。

### 「市産果実とセットにした県産ワインの海外輸出展開」

①販路開拓が見込めるアジア圏を中心に食用ブドウや桃等を併せた海外プロモーションを実施します。

②甲州種ワインの国際的な評価を国内市場に喚起し、需要を拡大します。さらに海外市場での評価が国内ワイン市場に波及するような対策を進めます。